

## 教科横断型授業「英語」×「公民」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(16番)「平和と公正をすべての人に」			
実社会での課題	複雑化する国際情勢の中、絶えず戦争や紛争が起きている。人種や性別、宗教など、様々な違いを理解しながら、多様な人々と共存することが求められる。多文化社会で、利他の精神を持って、個々を尊重し、社会に貢献しようとする態度を育てていく必要がある。			
生徒に身に付けさせたい資質・能力	世界の「幸福・正義・公正」に向けて尽力した日本人の功績についての学びを通して、他者を尊重し、利他の精神を持って生きることの重要性を感じさせながら、多文化社会に生きる私たちが共生社会の実現に向けて何ができるかを考えさせる。			
主題(教材)	共生社会の実現に向けて ～多様性と調和～ (ELEMENT English Communication I Lesson 5 Respecting Each Other)			
	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等
指 導 入	これまでの学習内容を振り返る。	5	・オンラインクイズアプリ Kahoot!を用いて、前時までの学習内容を振り返らせるとともに、英語で学ぼうとする雰囲気作りをさせる。	・生徒用端末 ・Kahoot!
	1 世界の「幸福・正義・公正」に向けて尽力した先人について英語で発表する。 (1) 中村哲さん (2) 緒方貞子さん (3) 岩村昇さん	15	・オンラインプレゼンテーションアプリCanvaを用いて、三人の先人について発表させ、オンライン投票アプリMentimeterを用いて、よかった発表に関して投票を行わせる。	・ワークシート ・Canva ・Mentimeter
過 開	2 ALTの出身国カナダにおいて、世界に貢献した人物について学ぶ。	5	・ALTによる発表を聞いて、他国で功績を残した人物について理解させる。	・Canva
	3 中村さん、緒方さん、岩村さんの生き方についてさらに学ぶ。	5	・公民科教員による三人の日本人の功績の説明を聞き、自分の生き方に反映させる。	・PowerPoint
程 整 理	4 共生社会を実現するために何ができるかを考え、班で話し合う。	15	・オンラインディスカッションアプリJamboardを用いて、自分の考えをまとめ、班ごとに意見を共有させる。	・Jamboard
	本時のまとめをする。 (公民科教員、ALT、英語科教員)	5	・「英語」「公民」それぞれの教科の目標と実社会の課題に向き合う姿勢との深い関連に気付かせ、自分の行動が共生社会の実現において重要であることを認識させる。	
備 考				